

1 内政

ロドリゲス前ポンペイ州最高裁長官に懲役2年半の判決

6日、ポンペイ州最高裁は、公金横領罪他、7つの罪で裁判中だったロドリゲス前ポンペイ州最高裁長官に対し、懲役2年 6 ヶ月及び罰金2500ドルの有罪判決を下した。

（5月6日付 カセレリエ紙）

パニュエロ新大統領及びジョージ副大統領（再任）、シミナ連邦議会議長（再任）が選出

11日、本年3月に実施された第40回連邦議会選挙で選出された14名の連邦議会議員によって、第9代ミクロネシア連邦大統領にデイヴィッド・パニュエロ議員（ポンペイ州選出4年任期）が選出された。副大統領には現職のヨシヲ・ジョージ議員（ポンペイ州選出4年任期）が再任された他、連邦議会議長にはシミナ現議長（チューク州選出4年任期）が同じく再任され、それぞれ連邦議会内でヤマセ最高裁長官の立ち会いの下、宣誓を行った。

詳細は往電第366号、同367号を参照。

（5月13日付 カセレリエ紙）

リヨン・アソシエーツによる汚職疑惑にクリスチャン前大統領が関与か

米リヨン・アソシエーツのジェームス・リヨン代表が、ミクロネシア連邦政府と公共事業に関する7.8百万ドルのエンジニア契約を結ぶ見返りとして、ミクロネシア連邦運輸・通信・インフラ省のマスター・ハルバート（クリスチャン前大統領の娘婿）が同代表から約20万ドルの賄賂を受け取っていたとして逮捕された事件に関して、クリスチャン大統領自身も大統領就任直後からリヨン代表と接触し、何らかの関わりをもっていたと見られている。そのためクリスチャン前大統領は米当局による逮捕を恐れ、ミクロネシアから出国（グアム、ホノルルを経由）できないとみられている。

（ハワイアン・フリープレス）

2 外交

ライリー米大使、パニュエロ新大統領を表敬

13日、ライリー米大使はパニュエロ新大統領を表敬し、先般の台風 Wutip 被害に対する米の支援、米軍退役ミクロネシア人への支援問題、米在住のミクロネシア人のID問題、コンパクトの修正問題等につき話合った。

(5月14日付 大統領府プレスリリース)

黄中国大使, パニュエロ新大統領を表敬

14日, 黄中国大使はパニュエロ新大統領を表敬した。パニュエロ大統領は引き続き中国の「一帯一路」, 「1国2体制」を支持すると述べ, また, 黄大使はパニュエロ大統領の訪中を要請し同大統領はこれを了承した。具体的な日程は今後調整される。詳細は往電第392号を参照。

(5月16日付 大統領府プレスリリース)

フレイザー豪大使, パニュエロ新大統領を表敬

15日, フレイザー豪大使はパニュエロ新大統領を表敬し, 2国間問題等につき話し合った。その中でパニュエロ大統領は目下豪州が, 島嶼国政府の法執行・主権保護の能力強化を目的として設立の準備を進める太平洋融合センター(Pacific Fusion Center)をミクロネシアに誘致するよう要請した。

(5月17日付 大統領府プレスリリース)

堀江日本大使, パニュエロ新大統領を表敬

15日, 堀江大使はパニュエロ新大統領を表敬し, 2国間問題等につき話し合った。

詳細は往電第378号及び同379号を参照。

(5月17日付 大統領府プレスリリース)

パニュエロ大統領, 米を公式訪問

17日から30日までパニュエロ大統領は, 米・ミクロネシア3国首脳会合に出席するためヒルダ・マーシャル大統領, レメンゲサウ・パラオ大統領と共に米を公式に訪問した。この間, トランプ大統領との会談の他, バーン・ハード内務省長官(20日), シャナハン国防長官代行(21日), ポンペオ国務長官(21日), ビショップ上院議員等と会談し, コンパクトや太平洋地域の安定と平和, 国際協力等について話し合った。訪問の成果としてトランプ大統領と3国首脳による共同声明が発表された。訪問にはパトリア夫人の他, モセス連邦議会副議長, ロバート外相, ガレン司法長官等も同行した。

詳細は往電第400号及び同410号を参照。

(5月24日付 大統領府プレスリリース)

3 経 済

チューク州の光ファイバーケーブル開始式

クリスチャン大統領はチューク州での光ファイバー通信の開始に係る式典に出席した。このプロジェクトは、チューク州のインターネットの容量を劇的に増大させ、ミクロネシアで最も人口の多い州の経済・社会開発を支援する。光ファイバーは、NECから素材の提供を受けミクロネシア連邦政府（FSMTCケーブルコーポレーション）が採用した最新のものの。

（5月7日付 カセレリエ紙）

4 経済協力

NFC（国家漁業公社）が連邦政府に50万ドルを拠出、FSM信託基金へ

5月9日、クリスチャン大統領はNFCのシタンCEO及びNFCの委員会メンバーと面会した。NFCは大統領の同社への支援と感謝を伝え、NFCからFSM信託基金へ50万ドルが供与された。

（5月9日付 カセレリエ紙）

原告と被告が事件の棄却に同意、サプアフィック島のナマコに危機か

ポンペイ州の伝統的指導者が約3年間に同州でのナマコの販売や漁獲を禁止する「暫定的差し止め命令」を出したが、もはやその命令は権限がないようだ。原告と被告は命令の棄却の訴えを提起した。近年、ポンペイ州サプアフィック島では、同州ピーターソン知事と伝統的リーダーの支持を受け、漁業養殖局（OFFA）はリーフ内に30万匹のナマコを放流した。

（5月20日付 カセレリエ紙）

5 文化・教育

特になし。